

## 1 総論 食品安全委員会の発足からの歩みと平成18年度の運営方針

## 2 平成18年度における取組

## 1) 委員会の計画的な運営 ・運営計画に基づき委員会会合を47回、専門調査会の会合を合計151回開催

## 2) 食品健康影響評価の実施

- 食品健康影響評価に関するガイドラインの作成  
「食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針」(案)(以下「評価指針」(案)という。)の取りまとめ
- 委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件の点検・検討  
食中毒原因微生物については、「評価指針」(案)に従って作成・公表した9種類のリスクプロファイルのうちから優先度の高い評価案件候補4案件を選定  
「我が国に輸入される牛肉及び牛内臓に係る食品健康影響評価の実施に関するプリオン専門調査会の見解」を取りまとめ、これを受け自ら評価の実施の要否について決定する前に意見交換会を実施することを決定  
「放射線照射食品」については、自ら評価は行わないが、情報収集の継続を決定  
「ビタミンAの過剰摂取による影響」について科学的知見を整理したファクトシートを作成
- 厚生労働省・農林水産省等から247案件の評価要請を受け、113案件について評価結果を通知
- 食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の監視  
食品健康影響評価結果について、平成17年10月から18年3月までの間に通知した評価品目等の調査結果を18年10月に報告するとともに、18年4月から9月までに通知した評価品目等の調査を実施
- 食品健康影響評価技術研究の実施(平成17年度～)  
平成18年度の研究事業として5研究領域8課題を採択  
平成19年度の研究事業として4研究領域決定

## 3) リスクコミュニケーションの促進

- 「食の安全に関するリスクコミュニケーションの改善に向けて」(平成18年11月)の取りまとめ
- 意見交換会等を70回開催  
食育、残留農薬等のポジティブリスト制度 等
- 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座を14回開催
- 85件の審議結果案についての意見・情報の募集を実施
- 地方公共団体との連絡会議の開催(平成18年9月)
- 食品安全モニターの活動(全国470名)  
随時報告536件受付、課題報告2回実施、モニター会議10回開催 等
- 食の安全ダイヤル  
863件の問合せ等を受付、FAQの公表
- ホームページの運営、メールマガジンの配信、季刊誌「食品安全」の発行、DVDの作成等による情報提供

## 4) 緊急の事態への対処

- 緊急時対応訓練の実施  
机上シミュレーション  
(平成18年9月実施)  
実動訓練  
(平成18年12月実施)  
要素訓練  
(平成19年2月実施)
- 緊急時対応体制の強化  
方策の検討

## 5) 食品の安全性の確保に関する情報の収集・整理・活用

- 国内外の行政・報道機関等からの情報の収集・整理・分析
- 関係行政機関との定期的な情報交換
- 食品安全総合情報システムの構築(平成16年～18年度データベースの計画的整備)

## 6) 食品の安全性の確保に関する調査

- 危害情報の収集・整理・解析 ○評価に必要な毒性データ等の収集
- 流通過程の食品のモニタリング調査 ○危害要因の分析手法の確立等に関する調査
- リスクコミュニケーションに関する調査

## 3 平成18年度における運営状況の総括



## 次年度の重点事項(平成19年度食品安全委員会運営計画)

- ①ポジティブリスト制度に対応したリスク評価体制の強化 ②評価ガイドラインの検討
- ③食品健康影響評価技術研究の推進 ④リスクコミュニケーションにおける地域の指導者等の育成
- ⑤正確でわかりやすい情報の迅速かつ適切な提供の推進 ⑥情報の一元化、緊急時の対応体制の強化 ⑦国際機関や外国政府機関等との連携強化・国際協調の推進